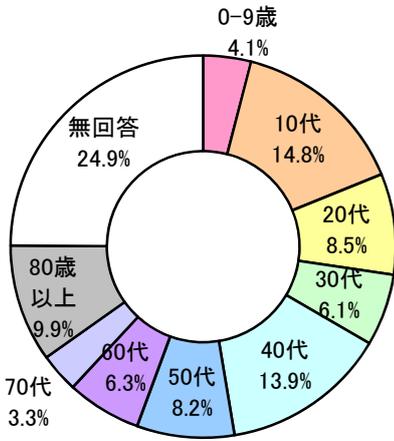


「3.11 大津波と文化財の再生」アンケート集計結果

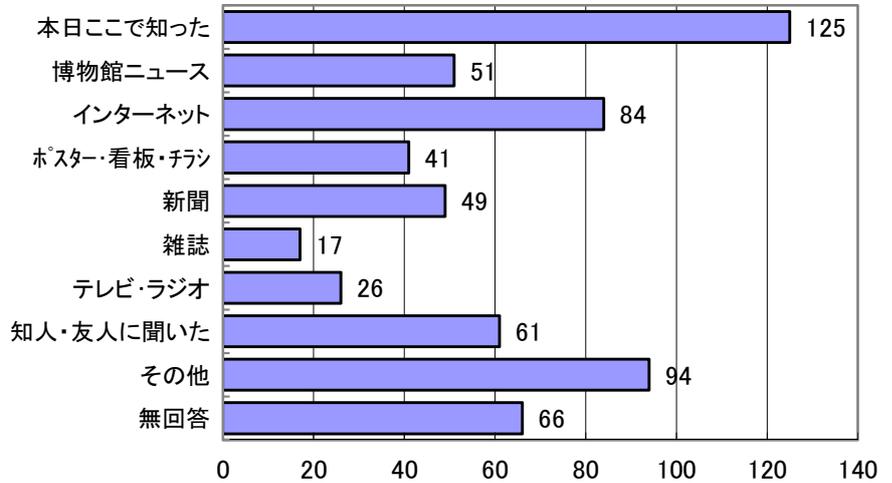
開催期間：平成27年1月14日（水）～ 3月15日（日）（54日間）

回答者数：574人（総入館者数：78,615人 アンケート回収率：0.73%）

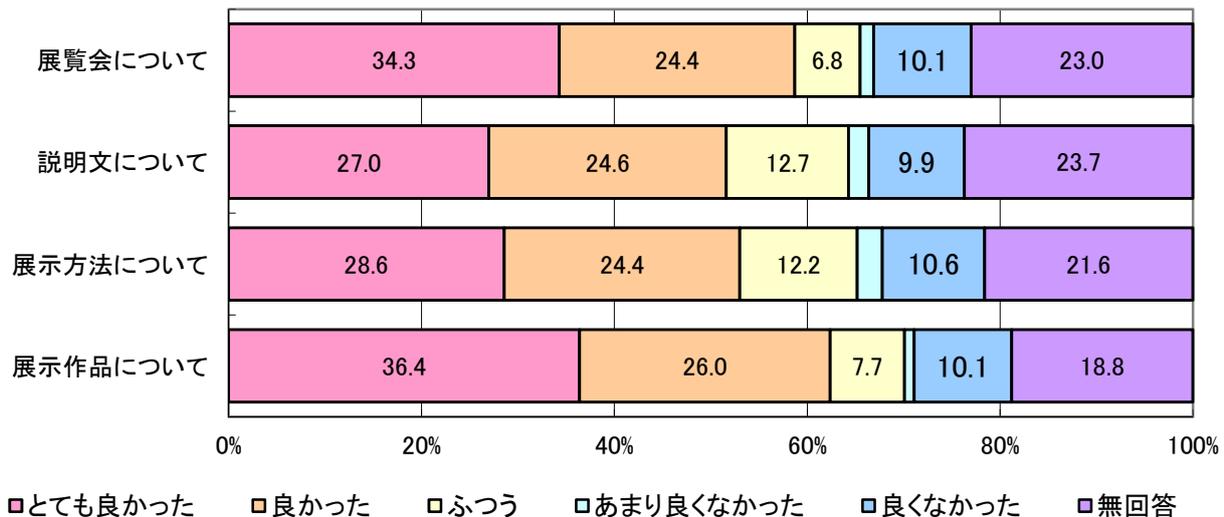
①アンケート回答年齢



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった
展覧会	1.4
説明文	2.1
展示方法	2.6
展示作品	1.0

(%)

④主な意見・感想

- ・文化財レスキューの活動を初めて知った。
- ・再生のために尽力している方々の存在を知って、感動した。
- ・東北の震災の様子や関わりが興味深く、心に残った。
- ・展示場所が分かれていて分かり難い。
- ・陸前高田市に限定されているのが残念だった。

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震が引き起こした大津波は、地域の文化を支えてきた文化財にも甚大な被害をもたらしました。

救出された文化財は、海底のヘドロ、生活雑排水に含まれる様々な雑菌類などが原因となり、変色や腐敗腐食といった劣化が急激に進む恐れがあります。そのため、「安定化处理」と呼ばれる劣化の原因を取り除く作業が必要となりますが、すべてを終えるには今後10年かかるといわれています。

本展では、これまでの4年にわたる修復作業の過程および現状を紹介し、7万8千人にご来館いただきました。アンケートの結果、展覧会に対して約60%の方々から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことが出来ました。一方で、「会場が分かれていて分かり難い」「地域が陸前高田市に限定されているのが残念だ」などのご意見も寄せられました。

今後も、来館者からお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。